

令和3年度 中学生の「税についての作文」

一般社団法人柏青色申告会会長賞

「コロナと税金」

柏市立松葉中学校 三年 荻原 あかり

「コロナウイルスに感染してしまったら、入院大変そうだな。お金もすぐかかるんだろうな。」毎日のニュースで医療現場がひっ迫してる事を知り、ふいにそのような事を考えました。そこでコロナウイルスに感染してしまったら莫大な費用がかかる事も想像できました。まだ私は自分で働いて払うことができないので、私はもちろん、家族が容易に払える額ではないのだろうと思ひ、調べました。

様々なサイトなどで調べていくうちに、「税金」という言葉が多く出てきました。分かったのは、この新型コロナウイルスは「指定感染症」のため、検査費、治療費、入院費、病院から提供される食事代等は公費負担という事です。私はこのシステムはとても素晴らしいと思ひました。不安でいっぱいな患者の方を全国民が出した税金によって、金銭面だけでも支えていることになると思ひました。これを知って、税金はとても大切だと感じました。しかし、それと同時にコロナウイルスは世界で広がっています。税金や医療費は国によって違うので、外国では税金が使われているか、という事も気になり、調べる事にしました。

すると、とても驚きの事実が分かりました。よくアメリカのニュースもテレビで見ると、アメリカについて調べました。医療費が高いアメリカでは、コロナウイルスの治療のために一人約三七〇万円の費用がかかるそうです。アメリカでは保険に入れない人が二八〇〇万人以上いて、低保険に加入している人も含めてそのような人たちは検査や治療を控えているそうです。それを知って、日本は本当に医療費が安く、税金に支えられているな、と思ひました。また、特に日本の税の使い方で良いと思つた事があります。それは、所得額によって、負担額を変えているという所です。たくさん支払える額があるのに国民が出した税金を使って治療するのは抵抗がありますが、日本ではコロナウイルス感染症の患者に対しては、その世帯員全ての市町村民税の所得割額を合算した額が五六万四〇〇〇円を超える方は、月額二万円を上限に自己負担となるそうです。これはすごく日本人一人一人を平等にするための仕組みだと思ひます。

最後に、私は税金といえば教科書や実験器具、道路などに使われているイメージの方が強かったです。今の世界のこの大変な状況の中、日本の税金は国民一人一人の命と生活を守る大切な役割をしている事を知り、税金のありがたみを深く知ることができてとても良かったです。